

社会福祉法人萱垣会 26年度事業報告書

I 事業概要の報告

平成26年4月度から新たに消費税が8%となり1年が経過した。低迷と言われた日本経済も2万円超えの株価となり明るさがほのかに見えるところとなってきた。

そうした中、介護保険関係では平成27年度から第6期事業計画へと移行し、同時に施行された介護報酬改定では平均マイナス2%の数値が示された。人手不足が全国的に慢性化する中、国は介護職員の賃金改善を行うことで人材確保を図る考えだが、実質的な減収が見込まれる事業者には新たな職員雇用が本当に実現できるか懐疑的でもあり、介護の質の低下につながらないか危惧するところである。

こうした現状の中、当法人では新規採用者をはじめとする職員が長期に亘って定着できるよう働きやすい労働環境全般を整備するとともに、併せてサービス利用者の満足度を押し量りながら利用者一人ひとりに相応しい支援ができるよう努めている。

さて、平成26年度の事業もほぼ順当に推移して新年度を迎えた。殊に平成23年度から実施している「ご利用者満足度調査」は法人傘下の第三者委員12名の方々のご協力により、施設サービスのご利用者様232名に加え、ご家族248名、都合480名の皆様から貴重なご意見を伺うことができた。調査結果は萱垣会報に記載済みであるが要望・苦情に対して速やかに対応してご利用者本位のサービスが提供できるよう努めている。

各エリアの報告として、信濃寮エリアでは、養護老人ホームの利用者が次第に逡減している実態がある。在宅サービスの充実へと移行する中で、住み慣れた地域でなじみの関係を保ちながら低額料金で利用できる支援ハウス等の整備がその要因であろうと思われるが、27年度からの特養の重度者の優先入所も加わり、より介護を必要とする準特養化へと大きく様変わりすることが予測される。

赤石寮エリアでは、長年新野デイサービスで行っている「お泊りデイ」のガイドラインが新たに示され、スプリングラーの設置をはじめ利用定員や居室の定員に制限を設けたものとなってきた。安全は優先事項だが、ご利用者やご家族が安心して利用できるお泊りデイを行政側と協議しながら継続してゆきたい。

光の園エリアでは、昨年来検討を頂いていた下條デイサービスセンターの移転できる見通しとなり、本年7月から開設できる予定である。介護予防機能を加え一層地域に貢献できることが期待されている。

広済寮エリアでは、広済寮の移転改築に伴う諸準備を進めている。地権者との話し合いも順当に進んでおり、介護保険第6期（平成27・28・29）内での着工を視野に入れて協議を進めている。

法人内の多くの事業所では、平成19年度以降から調理の外部委託を行ってきた。当初から「食の楽しみ」を目標として相互に話し合いを重ねてきたが、ご利用者様や現場介護職員の要望や改善が認められないことから、平成26年度末より新たな委託業者の変更を行った。

理事長 萱垣光英

II 事業の概要報告

1 信濃寮エリア

事業種別	名称	定員等	稼働率
第1種 養護老人ホーム	信濃寮	80名	95.0
〃 特別養護老人ホーム	シルバーハウスゆめの郷	60名	95.4
第2種 短期入所介護	シルバーハウスゆめの郷	12名	83.9
〃 通所介護	かなえデイサービスセンター	750/月	66.0
〃 通所介護	デイサービスセンター四季	750/月	63.2
〃 訪問介護	ヘルパーセンターしなの	—	—
〃 在宅介護支援センター	かなえ在宅介護支援センター	70/月	79.3

2 赤石寮エリア

事業種別	名称	定員	稼働率
第1種 特別養護老人ホーム	赤石寮	70名	96.4
第2種 短期入所介護	赤石寮	8名	102.9
〃 通所介護	新野デイサービスセンター	750/月	86.8
〃 認知症共同生活介護	やすらぎの郷	9名	97.4
〃 訪問介護	新野ホームヘルプセンター	3,150時間	16.7
公益 居宅介護支援事業所	赤石寮	70/月	85.4
第2種 支援ハウス	新野高齢者生活福祉センター	10名	—

3 光の園エリア

事業種別	名称	定員	稼働率
第1種 養護盲老人ホーム	光の園	50名	98.5
〃 特別養護老人ホーム	第二光の園	60名	99.3
第2種 短期入所介護	第二光の園	8名	84.5
〃 通所介護	下條村デイサービスセンター	—	—
〃 通所介護	光の園デイサービスセンター	750/月	81.9
〃 訪問介護	光の園ホームヘルプセンター	3,870時間	77.4
公益 居宅介護支援事業所	光の園ケアプランセンター	105/月	99.1

4 広済寮エリア

事業種別	名称	定員	稼働率
第1種 特別養護老人ホーム	延暦寺広済寮	50名	99.4
第2種 短期入所介護	延暦寺広済寮	6名	43.1
〃 通所介護	ゆうらく苑デイサービスセンター	750/月	75.9
〃 認知症共同生活介護	グループホームまごころ	9名	100
〃 訪問介護	広済寮ホームヘルパー	2774.5時間	81.2
〃 在宅介護支援センター	ゆうらく苑在宅介護支援センター	120/月	88.3
〃 在宅介護支援センター	みなみ在宅介護支援センター	50/月	99.4

Ⅲ 法人本部事業

1 理事会

(1) 第1回理事会

- ① 開催日；平成26年5月27日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；14人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；東海林清子 宮沢宏
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	平成25年度法人及び事業所の事業報告書（案）について	可決
2号議案	平成25年度法人及び事業所の決算書（案）について	可決
3号議案	平成25年度経理監査結果報告について	可決
4号議案	平成26年度事業計画グリーンプランについて	可決
5号議案	下條村デイサービス移転新築について	可決
6号議案	移行時特別積立預金の取崩しについて（広済寮）	可決
7号議案	平成26年度長野県共同募金申請について（光の園）	可決
8号議案	平成26年度日本財団補助金申請について（下條村デイサービス）	可決
9号議案	第三者委員の選任について	可決
10号議案	その他	—

(2) 第2回理事会

- ① 開催日；平成26年8月21日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；13人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；小林雅夫 伊藤昭和
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	平成26年度事業計画グリーンプランについて	可決
2号議案	下條村デイサービス移転新築工事について	可決
3号議案	平成26年度敬老祝賀会について	可決
4号議案	ご利用者様満足度調査について	可決
5号議案	その他	
	① 指導監査結果報告について（ゆめの郷）	可決
	② 中津川土地代金返済について	可決
	③ その他	—

(3) 第3回理事会

- ① 開催日；平成26年12月12日
- ② 場所；光の園集会室
- ③ 出席者数；12人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；折山公光 神谷玲子
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	平成26年度第1次補正予算書（案）について	可決
2号議案	平成26年度上半期経営状況報告について	可決
3号議案	下條村デイサービス移転新築工事進捗状況について	可決
4号議案	広済寮移転について	可決
5号議案	平成26年度指導監査結果報告について	可決
6号議案	移行時特別積立預金の取崩しについて（かなえデイサービス）	可決
7号議案	その他 ① 敬老祝賀会の反省について ② 赤い羽根共同募金申請結果報告について ③ 日本財団助成金申請結果報告について ④ その他	可決 可決 可決 —

(4) 第4回理事会

- ① 開催日；平成27年1月27日
- ② 場所；本部会議室
- ③ 出席者数；14人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；折山公光 原久朗
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	新経理規程（案）について	—
2号議案	利用者サービス評価事業について	可決
3号議案	広済寮移転について	可決
4号議案	その他 ① 給食外部委託について ② 広済寮の水道について ③ 下條村デイサービス進捗について ④ 社会福祉法人制度の改正に向けた動向について ⑤ その他	可決 可決 可決 可決 —

(5) 第5回理事会

- ① 開催日；平成27年3月26日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；11人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；鋤柄修 宮沢宏
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	新経理規程（案）について	可決
2号議案	移行時特別積立預金の取崩しについて（赤石寮）	可決
3号議案	平成26年度法人及び各事業所の補正予算書（案）について	可決
4号議案	平成27年度法人及び各事業所の事業計画書（案）について	可決
5号議案	平成27年度法人及び各事業所の予算書（案）について	可決
6号議案	平成26年度利用者サービス評価事業の報告	可決
7号議案	下條村デイサービス移転新築工事進捗状況について	可決
8号議案	広済寮移転新築について	可決
9号議案	その他 ① 赤石寮GH利用料の改訂について ② その他	可決 —

2 経理監査

(1) 26年度会計経理監査（1日目）

- ① 開催日；平成27年5月13日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 監査員；安静監事 鷲山監事 福澤監事
- ④ 監査エリア；赤石寮エリア 広済寮エリア
- ⑤ 出席者；7名

(2) 26年度会計経理監査（2日目）

- ① 開催日；平成27年5月14日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 監査員；安静監事 鷲山監事 福澤監事
- ④ 監査エリア；光の園エリア 信濃寮エリア
- ⑤ 出席者；10名

3 評議委員会

(1) 第1回評議委員会

- ① 開催日；平成 26 年 5 月 27 日
- ② 場所；萱垣会本部 2 階会議室
- ③ 出席者数；24 人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；須山 萱垣憲英
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	平成 25 年度法人及び事業所の事業報告書（案）について	可決
2号議案	平成 25 年度法人及び事業所の決算書（案）について	可決
3号議案	平成 25 年度経理監査結果報告について	可決
4号議案	平成 26 年度事業計画グリーンプランについて	可決
5号議案	下條村デイサービス移転新築について	可決
6号議案	移行時特別積立預金の取崩しについて（広済寮）	可決
7号議案	平成 26 年度長野県共同募金申請について（光の園）	可決
8号議案	平成 26 年度日本財団補助金申請について（下條村デイサービス）	可決
9号議案	第三者委員の選任について	可決
10号議案	その他	—

(2) 第2回評議委員会

- ① 開催日；平成 26 年 12 月 12 日
- ② 場所；光の園集会室
- ③ 出席者数；25 人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；今村 山崎
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	平成 26 年度第 1 次補正予算書（案）について	可決
2号議案	平成 26 年度上半期経営状況報告について	可決
3号議案	下條村デイサービス移転新築工事進捗状況について	可決
4号議案	広済寮移転について	可決
5号議案	平成 26 年度指導監査結果報告について	可決
6号議案	移行時特別積立預金の取崩しについて（かなえデイサービス）	可決
7号議案	その他 ① 敬老祝賀会の反省について ② 赤い羽根共同募金申請結果報告について ③ 日本財団助成金申請結果報告について ④ その他	可決 可決 可決 —

(3) 第3回評議員会

- ① 開催日；平成27年3月26日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；19人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；橋本昌矩 橋本幸二郎
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	移行時特別積立預金の取崩しについて（赤石寮）	可決
2号議案	平成26年度法人及び各事業所の補正予算書（案）について	可決
3号議案	平成27年度法人及び各事業所の事業計画（案）について	可決
4号議案	平成27年度法人及び各事業所の予算書（案）について	可決
5号議案	平成26年度利用者サービス評価事業の報告	可決
6号議案	下條村デイサービス移転新築工事進捗状況について	可決
7号議案	広済寮移転新築について	可決
8号議案	その他 ① 赤石寮GH利用料の改訂について ② その他	可決 —

4 敬老祝賀会

実施日	エリア名	出席者（理事、評議員、三者委員等）
平成26年9月16日	光の園エリア	理事長 小林 折山 伊藤 東海林 小池 鷺山 中村 中村昭一 舘林
平成26年9月21日	信濃寮エリア	理事長 鋤柄 宮澤 小林 伊藤 安静 村松 橋本 棚田
平成26年9月22日	広済寮エリア	理事長 宮澤 小林 折山 伊藤 原 神谷 鷺山 福澤 曾我
平成26年9月29日	赤石寮エリア	理事長 小林 折山 伊藤 鷺山 福澤 田嶋 佐川

5 サービス評価事業

実施日	エリア名	出席者（理事、評議員、三者委員等）
平成27年2月24日	信濃寮エリア	宮澤 小林 安静 橋本 村松 棚田
平成27年2月25日	広済寮エリア	原 神谷 堀井 曾我 中島
平成27年2月25日	赤石寮エリア	折山 伊藤 鷺山 佐川 田嶋 土屋
平成27年2月26日	光の園エリア	東海林清子 小池 福澤 中村喜子 中村昭一 舘林 細田

IV エリア長会所管事業

1 着任式

- ① 日時；平成26年4月1日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 新職員；5名

2 新任職員研修

(1) 基礎研修

実施日	場所	出席者数	講師名
平成26年3月24日	本部	23名	理事長 東海林 長野経済研究所(荻窪) 萱垣
平成26年3月25日	赤石寮	10名	萱垣憲英 金田靖子 堤 土屋 金田和勇
平成26年3月26日	広済寮	8名	須山 山田 篠原 辻
平成26年3月27日	光の園	9名	樋下 和田 近藤 竹村
平成26年3月29日	ゆめの郷	10名	原 宮澤 芝田 宮沢恵

(2) 居士林研修

実施日	場所	出席者数	備考
平成26年6月24・25日	延暦寺居士林道場	17名	

3 職員全体研修

理事長講和

- ① 信濃寮エリア 平成26年7月25日 午後6時30分～(信濃寮・鼎デイサービス)
- ② 光の園エリア 未実施
- ③ 赤石寮エリア 未実施
- ④ 広済寮エリア 平成26年10月15日 午後6時30分～

4 職員採用試験

(1) 新規採用

試験名	日程	受験者数	合格者数
第1回 新規職員採用試験	平成26年4月23日	1名	1名
第2回 新規職員採用試験	平成26年5月15日	7名	6名
第3回 新規職員採用試験	平成26年10月28日	2名	2名
第4回 新規職員採用試験	平成26年12月19日	1名	1名
第5回 新規職員採用試験	平成27年2月18日	1名	0名

(2) 正規登用

試験名	日程	受験者数	合格者数
正規登用試験	平成 26 年 10 月 10 日	6 名	4 名

(3) 中途採用

試験名	日程	受験者数	合格者数
中途採用試験	なし		

5 エリア長会議の概要

社会福祉法人の在り方について、27 年度介護報酬改定による収支見込み、処遇改善加算の配分の方法についてなど、大きな変革に対応するため、以下のとおり会議を実施した。

実施日	場所	議題
平成 26 年 4 月 10 日	萱垣会本部	① 事業計画の重点項目の推進について ② 採用試験の方向について
平成 25 年 6 月 5 日	萱垣会本部	① おむつ外し作戦の取組みについて ② 満足度調査の取組みについて
平成 25 年 8 月 7 日	萱垣会本部	① 敬老祝賀会の取組みについて ② 満足度調査の結果の対応について
平成 25 年 10 月 10 日	萱垣会本部	① 社会福祉法人を取巻く状況について ② 満足度調査フィードバックについて
平成 26 年 12 月 5 日	萱垣会本部	① 社会保障審議会の報告（社会福祉法人の在り方） ② 社会貢献事業の方向性について
平成 26 年 1 月 21 日	萱垣会本部	① 第三者評価事業の取組みについて ② おむつ外し作戦の対応
平成 27 年 2 月 9 日	萱垣会本部	① 27 年度の介護保険制度改定の概要の確認 ② 収支構造の確認（報酬・食代・室代別収支）
平成 27 年 2 月 17 日	萱垣会本部	① 報酬改定による 27 年度の収支の予測 ② 介護職員処遇改善加算の対応
平成 27 年 3 月 9 日	萱垣会本部	① 26 年度の決決算見込み ② 介護職員処遇改善加算の対応
平成 27 年 3 月 24 日	萱垣会本部	① 介護職員処遇改善加算の対応 ② 給与規程の改定につい

V 代表者会所管事業

1 満足度調査

- (1) 第1回第三者委員会・代表者会合同委員会
 - ① 日時；平成26年6月20日
 - ② 場所；萱垣会本部2階会議室
 - ③ 第三者委員出席者；11名
- (2) 調査実施期間
 - ① 平成26年7月1日から平成26年7月20日
- (3) 第2回第三者委員会・代表者会合同委員会
 - ① 日時；平成26年8月19日
 - ② 場所；萱垣会本部2階会議室
 - ③ 第三者委員出席者；10名
- (4) 公表方法
 - 公表方法；萱垣会報（平成26年9月15日発行）
- (5) 調査の概要
 - 別紙

2 代表者会の概要

月次報告を基に、経営的観点、サービスの観点から調整を行うため以下のとおり会議を開催した。

実施日	議題	出席者数
平成26年4月18日	① 月次報告 ② 26年度事業計画のポイントについて ③ 25年度事業報告について	14名
平成26年6月20日	② ご利用者様アンケート（満足度調査）とは ③ 平成26年ご利用者様アンケートの調査内容と方法 ⑤ 第三者委員の役割分担	13名
平成26年7月23日	① 月次報告 ② 26年度事業計画のポイントについて	16名
平成26年8月19日	① ご利用者様満足度調査の結果報告 ② 満足度調査課題解決について ③ 満足度調査フィードバック（次回の調査の方向性）	13名
平成26年10月23日	① 月次報告 ② 満足度調査報告について ③ 満足度調査課題の見方（改善に向けて）	17名
平成27年1月21日	① 月次報告 ② 27年度事業計画について	18名
平成27年3月4日	① 介護職処遇改善加算の趣旨について ② 給与改訂について	18名

VI 法人重点事項

1 法令遵守の方針（報酬、加算、運営基準、預り金）

萱垣会の運営する事業は、社会福祉事業法等の法制度に則り、公金（租税）を原資として運営している事業体であるので、公正・公平な運用を図る責務がある。よって、これらの事業の適正を図るための法令遵守責任者等を配置し、定期的な相互干渉を行うこととしている。

以下のとおり相互干渉を実施した。

（1）介護報酬請求の管理

法令遵守責任者は、介護報酬請求一覧表とチェック表を法令遵守担当者会議（代表者会）に提出し相互干渉を実施した。

（2）加算要件等の管理

法令遵守責任者は、加算要件チェック表を作成の上、法令遵守担当者会議（代表者会）に報告し相互干渉を実施した。

法令遵守会議実施状況

実施日	方法	出席者数
平成 26 年 4 月 28 日	請求等の月次報告（1,2,3 月）の相互干渉	14 名
平成 26 年 7 月 23 日	請求等の月次報告（4,5,6 月）の相互干渉	16 名
平成 26 年 10 月 23 日	請求等の月次報告（7,8,9 月）の相互干渉	17 名
平成 27 年 1 月 21 日	請求等の月次報告（10,11,12 月）の相互干渉	18 名

（3）運営基準の管理

「事業所管理者、相談員、ケアマネ、主任、副主任等、業務上必要となる職種とリーダーは、毎年度当初、運営基準の確認を行う。」ことについて、各事業所で実施した。

（4）利用者預り金の管理

各事業所で、定期のチェックを実施した。

2 収支マネジメント

稼働率、人件費比率の状況を以下のとおり相互干渉した。

稼働率の相互干渉の実施状況

実施日	内容	出席者数
平成 26 年 4 月 28 日	稼働率の月次報告（1,2,3 月）の相互干渉	14 名
平成 26 年 7 月 23 日	稼働率の月次報告（4,5,6 月）の相互干渉	16 名
平成 26 年 10 月 23 日	稼働率の月次報告（7,8,9 月）の相互干渉	17 名
平成 27 年 1 月 21 日	稼働率の月次報告（10,11,12 月）の相互干渉	18 名

3 事故対応

(1) 介護事故の予防

介護事故について、代表者会に概要を報告し意見交換を行った。各事業所で委員会の開催をしているが、現状では特効薬とはなっていない。次年度については、転倒事故について着目し、改善をはかるよう取組みを強化する方針。

介護事故発生の概況（転倒事故について対策を強化するため、全事故の中から抜粋した）

エリア名	行政へ報告が必要な事故	転倒（転落）事故	
		転倒・転落	転倒・転落しそうになった
信濃寮エリア	6件	33件	37件
赤石寮エリア	3件	96件	36件
光の園エリア	3件	50件	106件
広済寮エリア	3件	15件	36件
合計	15件	194件	125件

(2) 職員事故の予防

各事業所で実施した。

(3) 交通事故の予防

- ① エリアごと交通安全研修を実施した。
- ② 「地域版」安全運転マニュアルを作成した。
- ③ ドライブレコーダーを公用車全車装着した。

公用車の交通事故発生の状況

エリア名	人身事故		車両破損等	
	加害側	被害側	加害側	被害側
信濃寮エリア	0件	0件	0件	1件
赤石寮エリア	1件	0件	6件	1件
光の園エリア	0件	0件	14件	0件
広済寮エリア	0件	0件	2件	2件
合計	1件	0件	22件	4件

4 地域貢献の見える化

厚生労働省社会・援護局「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」において、社会貢献事業の実施の義務付けが提案され、27年度に制度化される見通しである。萱垣会では、それに先駆け、“見える化”の実施のため、別紙のような方法で現状を評価してみた。

新制度では、会計に新たな科目を設置する方向などが検討中。今後、国の方針に合わせて対応する。

5 おむつ外し（トイレ排泄推進）作戦

今後の介護報酬の方向性は「基本報酬；減」「加算報酬；増」の形が予測される。加算の趣旨は「サービス向上の成果に対する報酬」であるので、加算対象の可能性のある“おむつ外し”について強化していきたい。相互干渉により推進の動機づけを行ってきたところ、改善方向がうかがわれる。

おむつ使用率の状況

施設名（定員）	おむつ使用者数（割合）		
	平成 25 年 7 月	平成 26 年 3 月	平成 27 年 3 月
ゆめの郷（60）	18 人（30.0%）	21 人（35.0%）	21 人（35.0%）
赤石寮（70）	47 人（67.1%）	44 人（62.9%）	41 人（58.6%）
第二光の園（60）	35 人（58.3%）	29 人（48.3%）	23 人（38.3%）
広済寮（50）	17 人（34.0%）	13 人（26.0%）	13 人（26.0%）
信濃寮（80）	5 人（15.0%）	5 人（15.0%）	3 人（8.8%）
光の園（50）	8 人（25.0%）	9 人（28.1%）	8 人（24.2%）

6 看取り

“終の棲家”という位置付けの特別養護老人ホームは、看取りの場としての機能が求められ、加算が設定された。人生の最期の生活の場となるにふさわしいよう、介護の内容を充実させていく。

施設での看取り状況

	退所者数（A）	看取り介護者数（B）	看取り率（B）÷（A）
ゆめの郷（60）	9 人	7 人	78.8%
赤石寮（70）	16 人	6 人	37.5%
第二光の園（60）	14 人	12 人	85.7%
広済寮（50）	4 人	4 人	100.0%
信濃寮（80）	13 人	9 人	69.2%
光の園（50）	2 人	2 人	100.0%
合計	58 人	40 人	69.0%

7 感染症、食中毒の状況

報告（感染者 10 人以上）には至らないまでも、感染者の発生は起こっており、早期に収束するよう引き続き対応を行っていく。

市町村へ報告を要する感染症発生の状況

エリア名	感染症	食中毒	備考
信濃寮エリア	0	0	
赤石寮エリア	3	0	インフルエンザ
光の園エリア	0	0	
広済寮エリア	0	0	
合計	3	0	

5 その他

(1) 広報について

インターネットホームページの内容を増やしているが、定期に情報発信していく状況にはなっていない。更新の体制を整えていきたい。

(2) 職員採用

ホームページの求人欄の充実し応募者の増加をはかる。更新の体制を整えていく。

採用・離職の状況

エリア名	正規職員		契約職員	
	採用	離職	採用	離職
信濃寮エリア	3人	4人	9人	11人
赤石寮エリア	1人	1人	2人	5人
光の園エリア	2人	4人	5人	5人
広済寮エリア	0人	2人	7人	8人
合計	6人	11人	23人	29人

(3) 実習生受入れの指導充実

実習担当者の設置を行い、受入数の増加をはかっていく。

実習生受入れの状況；実人員（延べ日数）

エリア名	短期大学	大学	その他	合計
信濃寮エリア	27 (229)	0 (0)	20 (44)	47 (273)
赤石寮エリア	0 (0)	0 (0)	11 (22)	11 (22)
光の園エリア	8 (116)	0 (0)	27 (60)	35 (176)
広済寮エリア	0 (0)	0 (0)	2 (10)	2 (10)
合計	35 (345)	0 (0)	60 (136)	95 (481)

その他は、高校生、中学生等の職場体験など

(4) 人材育成、研修計画

① 福祉・介護の資格試験

法人全体で、58人が資格試験に挑戦した。引き続き受験支援をしていきたい。

資格取得者（受験者数）

エリア名	介護福祉士	介護支援専門員	社会福祉士	合計
信濃寮エリア	3 (6)	0 (5)	0 (0)	3 (11)
赤石寮エリア	4 (7)	0 (11)	0 (3)	4 (21)
光の園エリア	4 (4)	0 (6)	0 (3)	4 (13)
広済寮エリア	4 (6)	0 (6)	0 (1)	4 (13)
合計	15 (23)	0 (28)	0 (7)	15 (58)

② 専門研修の受講状況

介護サービスの向上のため、さらに受講者の増加をはかりたい。

介護報酬加算に影響する研修の終了者

エリア名	主任介護 支援専門員	①認知症介護 実践者	②認知症介護 実践リーダー	③認知症介護 指導者	喀痰吸引等 研修
信濃寮エリア	0	0	0	0	2
赤石寮エリア	0	6	1	0	1
光の園エリア	0	0	1	0	3
広済寮エリア	1	8	1	0	0
合計	1	14	3	0	6

①認知症介護実践者(県)⇒ ②認知症介護実践リーダー(県)⇒ ③認知症介護指導者(大府センタ)

③ キャリア段位制度アセッサーの取得者

当該制度を活用し、職員の育成をはかる。アセッサー（評価者）の資格取得者の増加をはかる。

エリア名	合格（受験者）	氏名
信濃寮エリア	0 (0)	
赤石寮エリア	0 (0)	
光の園エリア	6 (6)	小林美華、南嶋智枝、小林由実、原栄子、大原恵、小池みちよ
広済寮エリア	0 (0)	
合計	6 (6)	

キャリア段位制度

シルバーサービス振興会「介護プロフェッショナル・キャリア段位制度」が、本格的に稼働した。当該制度は自動車学校の指導と同じように業務中の行動を評価し指導する OJT 型の育成制度であり、全国的に統一された制度である。

所管が内閣府から厚生労働省へと移管されたこと、処遇改善加算のキャリア要件に記載されたことなどから、介護保険制度への連動が予測される。

④ 報奨考課制度

介護サービスの提供態度等について、個々の良い点を職員相互が評価し合う報奨制度を実施した。現状では、実施したエリアは1か所にとどまったが、引き続き実施の推進をはかりたい。考課に対するアレルギーが推進の障害になっているが、実施した所では好ましい効果も見られている。

「福祉サービス第三者評価」の評価項目

一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 ⇒ 「評価とは」…人事考課制度等

「介護職員処遇改善加算」の資質の向上の要件

研修の受講やキャリア段位制度と人事考課と連動する。

(5) 補助金関係の施設整備事業

補助金（交付金）を取得した事業は以下のとおり

エリア名	事業名	補助金額
信濃寮エリア	なし	—
赤石寮エリア	なし	—
光の園エリア	福祉空間交付金（県）	30,000,000 円
	介護福祉施設整備等交付金・浄化槽補助金（下條村）	12,343,000 円
広済寮エリア	難視対策事業費補助金	5,829,000 円
合計		48,172,000 円

Ⅶ 中・長期的なビジョンと計画

1 グリーンプラン策定委員会

(1) 中・長期的なビジョン

地域包括ケアシステムの実現をめざし、「在宅サービスの拡張」と「医療サービスとの連携」を軸に、「障害者サービス」、「生活困窮者対策」、「児童、保育サービス」も視野に入れ、総合的な支援体制を築くことを目指していくため、引続きグリーンプラン策定委員会を開催していく。

(2) 中・長期事業計画

グリーンプラン（地域包括ケアシステムを踏まえた 10 か年計画）の中間報告書を策定した。

(3) 実施状況

日程	概要	備考
4 月 28 日	委員会開催（各エリアから 3 名の委員出席）	
7 月 21 日	委員会開催（各エリアから 3 名の委員出席）	
8 月 21 日	理事会に中間報告提出、当面の方針決定	

2 事業計画・事業報告の策定の方法、組織、日程

(1) 策定の方法、組織

事業計画を実行性があり、サービス内容の向上、法令遵守のあるものにするを目的に、以下のポイントを踏まえ様式の作成を行った。(委員は各エリアより5名程度)

ポイント

- ① 事業計画・事業報告の作成に多くの職員が係ることができる方法
- ② 「第三者評価の評価項目」「人員、設備及び運営に関する基準」「指導監査要綱」に沿った計画
- ③ 実施状況、評価ができるシステム

「福祉サービス第三者評価の評価項目」が、他の基準、要綱を含めてもすべての項目を網羅しているため、当該評価項目を活用していく。取次ぎとして、28年度に特養4施設が「福祉サービス第三者評価」を受審することとした。

(2) 委員会の実施状況

日程	概要	備考
9月9日	情報公開制度による各デイサービスの評価の確認	
11月6日	「人員、設備及び運営に関する基準」「指導監査要綱」の確認	
12月5日	「第三者評価の評価項目」の確認	
12月25日	「第三者評価の評価項目」の達成のため自己評価実施	
1月28日	未達成項目の作成分担の決定	
(4月24日)	(評価項目達成のため「ご利用のしおり」作成の決定)	締切9月末

3 処遇改善加算の増額に伴う給与改定について

給与改定の方針について、委員会を組織し職員の就業状況や意向を把握し、改善を希望する内容を聴取した。

ヒヤリングとの実施状況

日程	概要	備考
(3月19日)	(所得の再分配について、基礎知識の学習)	
6月23日	職員からヒヤリング	
(4月24日)	(改定内容の概要説明)	(4月7日の新制度の通知)